

大学間交流会 in 熊本大学

上田 誠

環境構造グループ

1 はじめに

技術職員の人的・技術的交流を目的とし、一昨年は本学で、昨年は九州大学伊都キャンパスにて開催した九州大学の技術職員との交流会が、本年度は本学にて開催された。今回は九州大学より 12 名のご参加を頂いたほか、長崎大学より 3 名、鹿児島大学より 2 名のご参加を頂いた。

2 内容

日程：平成 29 年 2 月 27 日～2 月 28 日

場所：熊本大学工学部 2 号館 214 教室及び熊本城

プログラム：(別紙参照)

2.1 技術交流発表会

宇佐川先生のご挨拶に引き続き、技術交流発表会では各大学より 2 件ずつ、計 8 件の口頭発表があった。研究支援分野の専門技術や実験・演習の紹介から技術部組織構成の紹介や安全衛生活動への取り組みの紹介といった幅広い内容であった。時間に余裕を持たせていたこともあり、各発表後の質疑応答も活発で充実した議論となった。



仲間技術職員（本学）の発表の様子



発表会場の様子

発表会に引き続いて行われた情報交換会では、宇佐川先生と富村先生にもご出席頂き、賑やかな雰囲気の中で専門業務、学生実験、技術部組織運営等について大いに盛り上がった。

2.2 技術交流発表会

2 日目は熊本地震によって被災した熊本城の見学会を行った。地震後の熊本城敷地内は立入禁止区域が多数設けられており自由に散策できる状況にないため、観光ボランティアガイド 2 名にお願いし、桜の馬場城

彩苑をスタート・ゴールとした 90 分コースの見学を行った。熊本城の周囲を 1 周 するようなコースだったが、好天に恵まれ、またガイドの方のお気遣いもあり城見櫓の最上階展望室からの見学も加わって、最終的には 2 時間の見学となった。熊本城も復興に向けて動き出したばかりでまだ地震の爪痕も生々しくいたるところに残っており、この見学会を通して各人色々と考えて頂けたのではないかと思います。なお余談だが、二の丸広場付近で偶然「くまモン」と「ひごまる」に遭遇する機会があり、特に県外からご参加の皆様は喜ばれたようである。



ガイドによる解説に聞き入る様子



被災し崩壊した熊本城石垣の一部

3 まとめ

九州大学との間で始まった交流会も 3 年目を迎え、この交流会を通じた技術的・人的交流が職員各々のスキルアップ、モチベーションの向上につながっているのは疑いようがない。また今回、新たに長崎大学、鹿児島大学からもご参加頂けたのは大変有意義であり、「これを機に九州地区の大学等の機関が密な交流ができるようになることを期待します」といったお話や、「小規模ながら好評な交流会なので、今後、他大学の参加も増えていくのでは」といったお話を頂いた。二日間という限られた時間での交流会だったが、小規模ながら密度の濃い交流会であった。

最後になりましたが、本交流会の開催にあたりご尽力頂いた九州大学、長崎大学、鹿児島大学の関係各位に感謝申し上げます。